少量危険物・指定可燃物 構造設備明細書													
構建	階数			建築	築面積		r		m²	延べ面積			m²
造 り 等の	壁				柱					床			
	天 井			:	窓					出入			
ける場合の構造等建築物の一部に設	建築物(全体)	構造						階数				
	の 構 造	概要	延べ面積				m²		用途				
			設置階						床面積			m²	
	마쁘다고	エの+# Y+	壁						柱				
	貯蔵取扱原	州の構造 ・	床							上階の床 又は天井			
		-	窓						出入口				
構屋外の	保有空地	東n	n 西	m	南	r	n北		m	防火上 効な塀	:有 : 等	有	· 無
	囲い等				•		地盤	全面			•		
	区画の面積	n					貯蔵高さ				m		
タンクの概要	形状						常圧・			加月	Ē (kPa)
	寸 法						容量						Q
	材質・板厚						通気管又は 安全装置						
	液量表示装置						外面保護						
酉	e 管					ā	架台の	構造					
採	光・照明					温	温度測定装置						
質	這気設備												
換気設備		□自然換 (□FD) □強制換 (□FD)) 気									□高所	排出設備 FD)
消火設備			<u>′ </u>				警報認	 设備					
工事請負者									(電	話)

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とします。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入してください。
- 3 危険物の性状を示す書類、貯蔵取扱い場所の付近見取図、建築物等の配置図(空地含む。)、 平面図、設備構造図及び機器図(仕様書等含む。)等を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。